

2016年3月24日

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086  
神戸市中央区磯上通 7-1-5  
www.lilly.co.jp

EL16-18

報道関係各位

## 日本イーライリリー 2015年度売上高は2,359億円<sup>1</sup>を達成 ～対前年比売上13%増 継続して高い成長率を維持～

日本イーライリリー株式会社(本社:兵庫県神戸市、代表執行役社長:パトリック・ジョンソン)の2015年度売上高は、対前年比13%増の2,359億円<sup>1</sup>の売上を達成、「革新的な医薬品開発のリーディングカンパニー」として、さらなる成長を遂げることができました。

2015年度は主力製品である抗精神病薬・双極性障害治療薬「ジプレキサ<sup>®</sup>」が対前年比2.1%の伸長<sup>\*</sup>、骨粗しょう症治療剤「フォルテオ<sup>®</sup>」が11.7%伸長<sup>\*</sup>と継続した成長を達成しました。また「サインバルタ<sup>®</sup>」は販売網の一本化も影響して69.8%の伸長<sup>\*</sup>(リリーのみの売上)、注意欠陥/多動性障害治療剤「ストラテラ<sup>®</sup>」は31.8%と前年から大きく伸長し、業績を大きく牽引しています。2015年に上市した4製品も順調に医療現場への導入が進んだほか、糖尿病治療薬の「トラゼンタ<sup>®</sup>」<sup>2</sup>も前年に引き続き好調に推移し、抗がん剤「アリムタ<sup>®</sup>」も3.1%伸長<sup>\*</sup>し、安定した売上を達成しました。(\*薬価ベース、©2016 IMSヘルス IMS JPM 2015年1月-12月 MATをもとに作成、無断転載禁止)

### <2015年 承認・適応症/剤型追加承認、上市>

- 2型糖尿病治療薬/選択的SGLT2阻害剤「ジャディアンス<sup>®</sup>錠」新発売(2月24日)<sup>2</sup>
- 抗悪性腫瘍剤「サイラムザ<sup>®</sup>点滴静注液 100 mg、同点滴静注液 500 mg」治癒切除不能な進行・再発胃癌に対する製造販売承認(3月26日)／新発売(6月22日)
- セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤「サインバルタ<sup>®</sup>カプセル 20mg、30mg」線維筋痛症に伴う疼痛に対する適応追加(5月26日)<sup>3</sup>
- インスリングルラルギン BS 注カート「リリー」および同注ミリオペン<sup>®</sup>「リリー」新発売(8月3日)<sup>2</sup>
- 抗精神病薬・双極性障害治療薬「ジプレキサ<sup>®</sup>ザイデイス<sup>®</sup>錠 2.5mg」の製造販売承認取得(9月18日)
- 「トルリシテ<sup>®</sup>皮下注 0.75mg アテオス<sup>®</sup>」週1回投与のGLP-1受容体作動薬 製造販売承認取得(7月3日)／新発売(9月16日)<sup>4</sup>

2015年度の業績について、日本イーライリリー代表執行役社長のパトリック・ジョンソンは次のように述べています。

「日本イーライリリーは、昨年11月に設立40周年を迎えました。2015年度は、既存製品が好調に伸び、対前年比売上13%増と、製薬業界で3位以内の成長率を6年連続で達成することができました。このことは、弊社の革新的な医薬品が継続して、日本の患者さんのより豊かな人生の実現に貢献できたと考えています。世界のイーライリリーにとって、日本市場は米国に次ぐ売上を誇り、世界の中でも重要な位置を占めています。昨年は、製薬業界ではあまり類を見ない、1年間に4製品の上市と2製品の適応症/剤型追加承認取得を成し遂げました。

<sup>1</sup>決算ベースの数字にグローバルアライアンスの売上等を加えた数字

<sup>2</sup>日本ベーリンガーインゲルハイム社との共同販促(コ・プロモーション)

<sup>3</sup>塩野義製薬との共同販促(コ・プロモーション)

<sup>4</sup>大日本住友製薬との販売提携

また、『研究開発こそ企業の魂である』というイーライリリー・アンド・カンパニー創業以来の理念を受けつぎ、日本においても他社に先駆けて、社外の研究機関や大学などと協力して創薬を目指すオープン・イノベーションを実践してきました。昨年は、アカデミアや研究機関と連携し、早期探索や共同研究を行うための取り組みとして、『イノベーション・デイ』を日本で初めて開催し、30以上の日本の研究機関と今後の共同研究の可能性を模索しはじめました。2016年は、兵庫県神戸市および公益財団法人先端医療振興財団との連携によるアルツハイマー型認知症治療薬の開発や日本で2回目となる『イノベーション・デイ 2016』の開催など、日本国内での研究開発に注力してまいります。日本イーライリリーは、2020年に製薬業界で売上で国内 Top10 入りすることを目指し、今後も患者さん中心のアプローチを貫き、革新的な医薬品を日本や世界の患者さんにお届けできるよう尽力してまいります。」

### イーライリリー・アンド・カンパニーについて

リリーは、世界中の人々の生活をより良いものにするためにケアと創薬を結び付けるヘルスケアにおける世界的なリーダーです。リリーは、1世紀以上前に、真のニーズを満たす高品質の医薬品を創造することに全力を尽くした1人の男性によって設立され、今日でもすべての業務においてその使命に忠実であり続けています。世界中で、リリーの従業員は、必要とする人々の生活を変えるような医薬品を開発し届けるため、病気についての理解と管理を向上させるため、そして慈善活動とボランティア活動を通じて地域社会に利益を還元するために働いています。リリーについての詳細は次のウェブサイトをご覧ください。

[www.lilly.com](http://www.lilly.com) および <http://newsroom.lilly.com/social-channels>.

### 日本イーライリリー株式会社について

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの子会社で、人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じて日本の医療に貢献しています。統合失調症、うつ、双極性障害、注意欠如・多動症(AD/HD)、疼痛、がん(非小細胞肺癌、膵がん、胆道がん、悪性胸膜中皮腫、尿路上皮がん、乳がん、卵巣がん、悪性リンパ腫、胃がん)、糖尿病、成長障害、骨粗鬆症などの治療薬を提供しています。また、アルツハイマー型認知症、関節リウマチ、乾癬などの診断薬・治療薬の開発を行っています。詳細はウェブサイトをご覧ください。 <http://www.lilly.co.jp>

### <ご参考>

2015年度 製品別売上高 (日本)(薬価ベース、IMS JPM (2015年12月MAT)をもとに作成)

製品名	領域	2015年売上高	対前年比(%)
ジプレキサ	中枢神経系	612億円	+2.1%
フォルテオ	骨粗しょう症	536億円	+11.7%
アリムタ	がん	381億円	+3.1%
サインバルタ*	中枢神経系	304億円	+69.8%
エビスタ	骨粗しょう症	203億円	-1.0%
ストラテラ	中枢神経系	183億円	+31.8%
インスリン	糖尿病・内分泌系	172億円	-1.3%
ヒューマトロップ	糖尿病・内分泌系	99億円	-2.4%
サイラムザ	がん	70億円	N/A
ジェムザール	がん	50億円	-17.6%
ザルティア*	泌尿器系	48億円	+306.3%
グラルギンリリー	糖尿病・内分泌系	7億円	N/A
トルリシティ	糖尿病・内分泌系	2億円	N/A

本表の合計は決算ベースの売上の数字と一致しません。

\* リリー単独での売上

後期開発品一覧（日本）2016年3月1日現在

治験薬記号(一般名)および剤型	予定される効能又は効果 対象疾患名および症状名	開発ステージ (国内)
LY3009806 (一般名:ラムシルマブ) 静注製剤	大腸癌	申請中
LY2439821 (一般名:イクセキズマブ) 皮下注製剤	中等症から重症の尋常性乾癬、 関節症性乾癬、膿疱性乾癬、 乾癬性紅皮症	申請中
LY3009806 (一般名:ラムシルマブ) 静注製剤	非小細胞肺癌	申請中
LY3012207 (一般名:olaratumab) 静注製剤	軟部肉腫	第III相
LY3009806 (一般名:ラムシルマブ) 静注製剤	胃癌	第III相
LY3009806 (一般名:ラムシルマブ) 静注製剤	肝細胞癌	第III相
LY3009806 (一般名:ラムシルマブ) 静注製剤	膀胱癌	第III相
LY2062430 (一般名:ソラネズマブ[遺伝子組み換え]) 静注製剤	アルツハイマー型認知症における 進行抑制	第III相
LY3009104 (一般名:baricitinib) 錠剤	関節リウマチ	第III相
LY450190 (一般名:タダラフィル) 錠剤、経口水性懸濁液	肺動脈高血圧症(小児用量)	第III相
LY2835219 (一般名:abemaciclib) カプセル剤	乳癌	第III相
LY2835219 (一般名:abemaciclib) カプセル剤	非小細胞肺癌	第III相
LY3012211 (一般名:necitumumab) 静注製剤	非小細胞肺癌	第II相
LY3314814 (一般名:未定) 錠剤	早期アルツハイマー病における 進行抑制	第II相